

鉄道交差点概要

JR 山陽本線と交差する約 300mの区間が立体交差区間として、アンダーパスとなります。



JR 山陽本線との交差点の施工

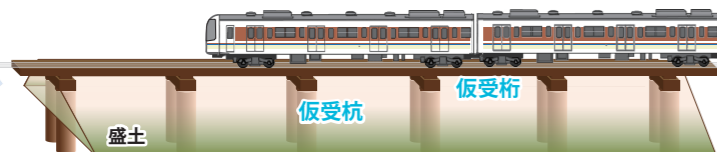
JR交差点はJRが施工し、その前後区間は兵庫県が施工します。工事期間を短縮し、早期に開通するため、JRの工事と兵庫県の工事は同時に行います。

現況：工事の準備



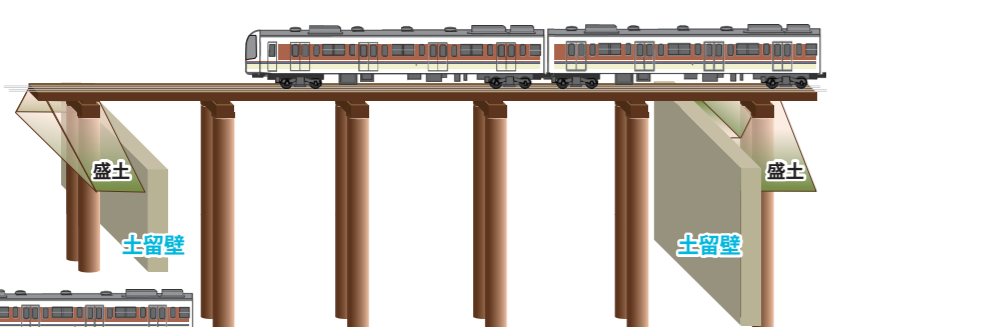
STEP1：仮受桁・杭の設置

盛土の中に杭を打ちます。



STEP2：土留めと掘削

土を一時的に撤去します。

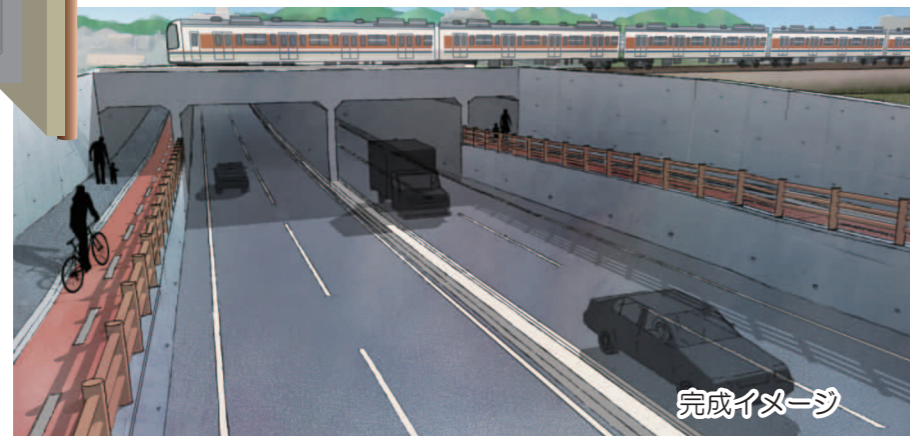


STEP3：本体構造物の構築

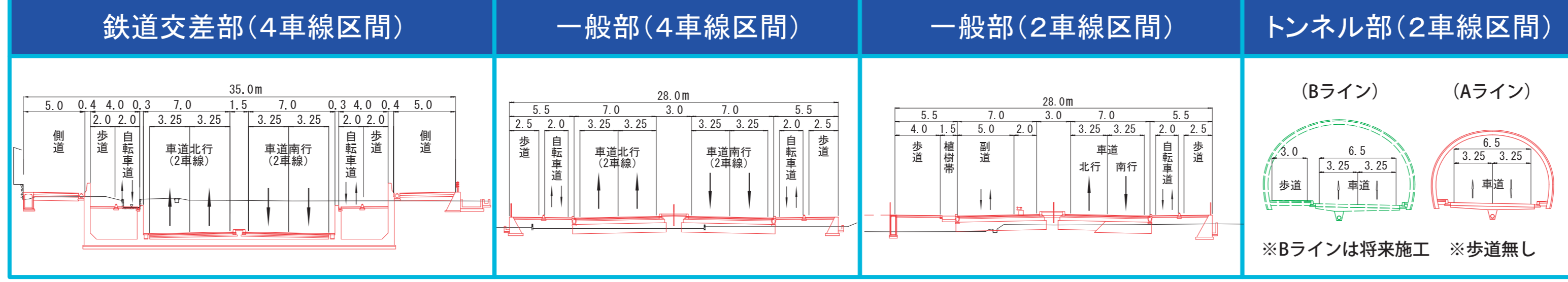


盛土を復旧したのちに、仮設の受桁や杭、土留などを撤去

～完成～

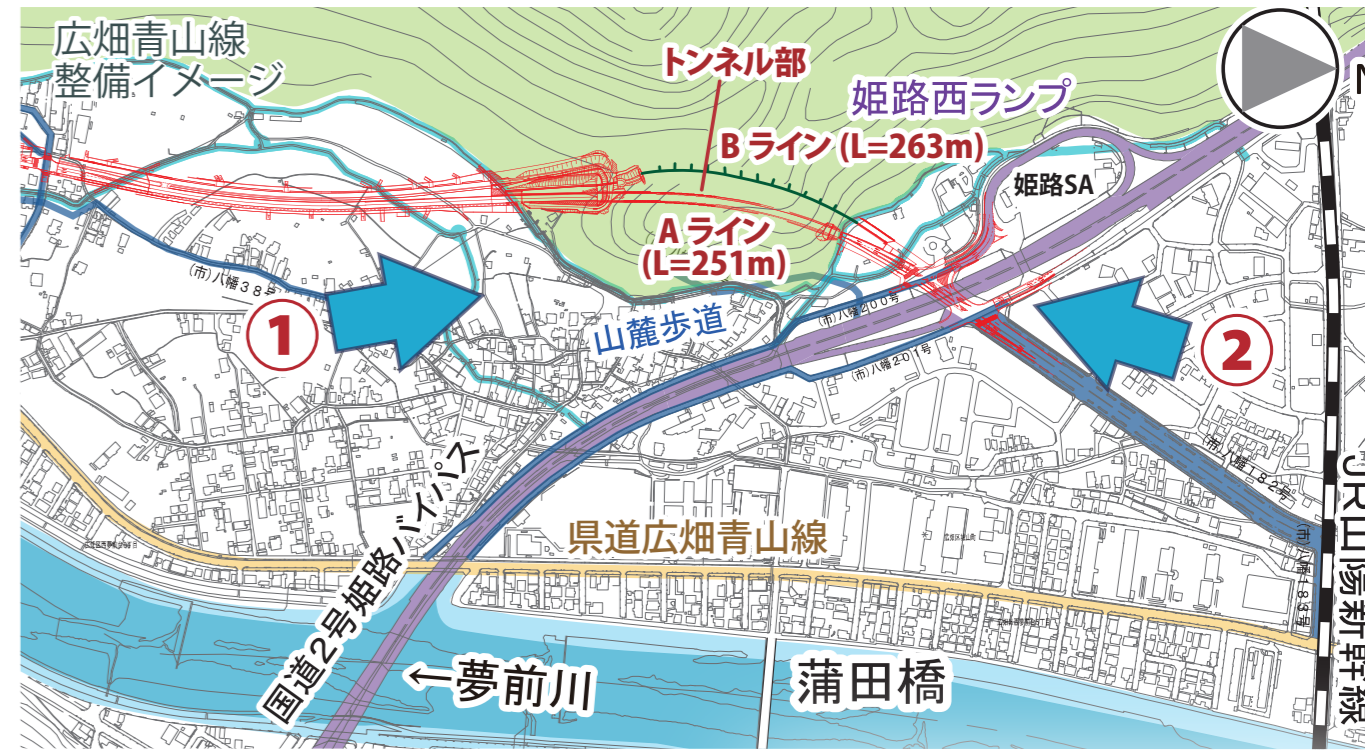


完成イメージ



俺天下山トンネル概要

俺天下山トンネルは、約250～260mの山岳トンネル(NATM工法)となります。令和8年4月26日に東側のAラインが開通しました。



俺天下山トンネル 名前の由来

播磨動乱の時代（室町～安土時代）に、山崎に本陣を置いた豊臣軍が反織田勢力の英賀城を包囲しました。天正8年2月10日から11日は終日攻防戦となり、双方で多数の死傷者を出し13日に英賀城は落城しました。同時に英賀城近隣の諸構も制圧されました。蒲田構のあった下野村の裏山からは、敗走する兵士、戦火の上がる英賀、中浜方面が良く見えました。その光景を見て「これからは、織田が天下だ」と確信し、豊臣軍は勝どきをあげました。織田が天下をとり、天正10年に織田が逝去して秀吉の時代となりました。いつごろからか、「織田が天下」が「おだか天下」に訛り、「おれが天下」に変わり八幡尋常小学校の子供たちが鍛錬のために岩山に登るようになってからは、「おれ天下やま」が「俺天下山」と口伝えされてきました。



俺天下山トンネル 名前の由来